

世界遺産

World Heritage

史跡 垣ノ島遺跡

Kakinoshima Site



史跡垣ノ島遺跡は、紀元前7,000～紀元前1,000年(9,000～3,000年前)の約6,000年間という長期にわたる定住を示す、太平洋をのぞむ段丘上に立地する縄文時代の集落跡です。

その中でも定住開始期の段階すでに居住域と墓域で構成される集落がつくられていたことがわかっています。さらに国内最大級の盛り土遺構や、墓に副葬された足形付土版など、当時の高い技術や精神性を示す貴重な遺構や遺物が数多く見つかっており、2011年に国の史跡に指定されました。

縄文の地形をいまでも実感できる垣ノ島遺跡で、縄文のこころを感じてみませんか。

2021年7月に、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産のひとつとして、世界遺産に登録されました。

●所在 地 函館市白尻町416-4(管理棟)

●供用時間 4月～10月 9:00～17:00
11月～3月 9:00～16:00

●休 日 12月29日～1月3日

●利 用 料 無料

●ア クセス バス「垣ノ島遺跡下」下車 徒歩5分

●駐 車 場 無料駐車場あり(縄文文化交流センター共用)

●問合せ先 函館市縄文文化交流センター

●電話番号 0138-25-2030



体験広場 Experience Space

学習やものづくりなど雨天時も利用可能な体験棟を備えた、遺跡の発掘調査を模擬体験することができる場所です。

縄文時代の土器や石器を実際に発掘してみませんか。



盛り土遺構 Earthwork Mound

全てのモノの魂を送るための「送り場」と考えられています。

全体が「コ」の字形で、長さは190m以上と国内最大級の規模です。

保存状態も良好で、現在でもそのスケールを実感することができます。



エントランス広場 Entrance Space



史跡の概要や施設の位置などを記した総合案内板や、史跡全体と周辺地形を示した立体模型、世界遺産を構成する17遺跡の共通サインがある、遺跡見学の起点となる場所です。史跡名が彫られた標柱の前は撮影スポットのひとつです。



豊穴建物群 Pit Dwelling Sites

縄文人の定住の証拠である豊穴建物跡が、長い年月を経た今でも埋まりきらずに窪みの状態で確認することができます。

全てを見つけることができれば、あなたも考古学者!?

